

亜木津新聞

亜木津新聞創刊200号記念

亜木津新聞は亜木津工業の創業者で当時社長の石本浩二が2001年2月1日に創刊、今号で200号になります。そこで今号は過去の興味深い記事(編集・抜粋)から掲載します。お楽しみください。



これぞ浪速の味『たこ焼き』
2001年5月 第4号

京の着倒れ、大阪の食い倒れと言いますが、大阪は大体物まねです。お好み焼きは広島焼、関東煮はおでん。元祖たこ焼き『会津屋』の主人も福島県出身。元々スジ肉が具の『ラチオ焼き』でしたが、「明石ではタコやで」とのお客さんの一言で『たこ焼き』が誕生。

執筆 創刊者石本浩二



今、葉隠から学び得ること
2002年9月 第20号

ある人物の栄転を審議していると、その人が以前酒に溺れていたことが分かった。栄転させないと決まらかけた時、異議があった。「一度過ちを犯したものを認めず捨ててしまったら優れた人物は出てこない。一度間違った者は後悔し、何かとつしんで、お役に立つものだ。栄転を仰せつかれたらよい。」請け負うのか「御意」と

うして?」「一度間違った者だから請け負えるのだ。あやまちのない者は逆に危なくなってしまうが。」

執筆 創刊者石本浩二

七七

長寿祝いの由来
2005年1月 第48号

六十歳 還暦
十二支が5回で一巡して戻る年。
七十歳 古希
杜甫の「人生七十年古来稀なり」。
七十七歳 喜寿
喜の草書体七十七(右図)から。
八十歳 傘寿
傘の崩し字が八十であることから。
八十八歳 米寿
米をバラバラにすると八十八。
九十歳 卒寿
卒の略字は卒となることから。
九十九歳 白寿
白に一を加えても、九十九に二を足しても百になることから。

執筆 石本綾子



短歌コーナー
2006年11月 第70号

秋風に
吹かれて友を
訪いゆけば
ごころの実をば
食べよと呉れる

執筆 石本つや子



ジョン・レノンの言葉
2008年10月 第93号

元ビートルズのギタリスト兼ヴォーカルジョン・レノンは生前日本びいきで小野洋子、息子のジョンと何度も来日した。1971年に書画を販売した古物商は語る。「白隠の絵や仙居の絵を見せると値段を聞いて、次々「OK」と言う。そのうち芭蕉の『古池や蛙飛び込む水の音』の短冊を見つけると目の色が変わったんです。おかしな人だなあ、俳句の心が分かるのかなと疑ったのですが、買ってからすぐ大事そうに抱いて持ってるんです。そして『私がこれを海外に持っていくことを嫌わないで下さい。私はこの芭蕉の句のために日本の家、庭を作り、床の間に掛けて日本人の心になって楽しむから。どうか嫌わないで下さい。』と。嬉しかったですね。いい人が買ってくれたと思えました。時間があつたので、歌舞伎の『隅田川』に連れて行っただんですが、台詞がないから面白くないだろうなと思ってジョンを見ると、頬にとどめもなく涙が流れている。それを小野洋子が一生懸命拭いている。「子供をさらわれた母親が気が狂い、なお探し続けて隅田川に辿り着き、殺された我が子が埋められた川岸の土饅頭に泣き崩れる」という話ですが、台詞もないのにそれが分かる。ジョンは目じゃなくて、心で聴いているんです。役者も心で演じるから伝わっていく。芭蕉が分かったジョンのことが分かりました。日本人だって分からないようなものを、ちゃんと知ってたんですよ。」

執筆 編者 参考 ウィキペディア



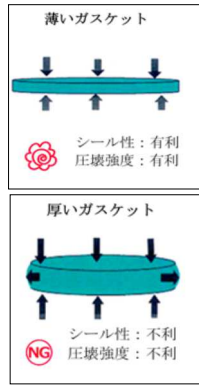
十ハサンの四方山話

田原祭

毎年9月中旬の連休に我が故郷渥美半島田原市の田原祭があります。町内の神社の祭礼で餅を立てた笠を被って練り歩いたのが発祥で、明治初期に現在の形になったといわれています。今年も台風18号の影響で打ち上げ花火は17日に順延しましたが、屋山車と神輿、夜山車、大筒神輿などは予定通り決行出来たようです。町民は子供組、青年組、成人組、年長組に属して盛り上げられます。私は中学の頃子供組の副連長をしたこともあって祭りには血が騒ぎます。最近では地元の人だけでなくトヨタなど、企業に勤める人も参加して楽しめます。子供の頃は、神輿担いで声がかかるまでワッショイワッショイしましたが、通りに並ぶ多くの露店が何より楽しみ。ピー玉を中に入れた楕円の紙筒が滑り台のような板をびよこたんびよこたんと回転しながら降りていくおもちゃを飽きずに半日見てました。少年雑誌の工作の付録だけ売っていた露店には興奮して目をキラキラ。祭りには参加しないとダメですよ。大事に受け継いで欲しい故郷の行事!

(出典：渥美半島だより)

【フジモンのガasket講座】 ③ガasketの厚さと浸透漏れ



先月に引き続きガasketの厚さについて。ガasket装着時、圧縮すると、薄いガasketでは、ほとんどの力が面圧方向にかかりますが、厚いガasketは厚さと直角方向にも力がかかり、圧壊しやすくなります。ガasketは薄い方が漏れ量が少ないだけでなく、圧壊強度も高くなります。フランジの平行度、表面粗さ、フランジ間の距離等総合的に判断下さい。

参考：ケリンガー技術資料

【読者よりのお便り】

外国人の観光は実に面白かった。2位のアキバフクロウは何これ、という感じでした。3位と4位は納得、当然と感じました。5、6位も納得。7位の新宿御苑は疑問です。北の丸公園から皇居の方が外国人にはよろしいのでは、と勝手に推測してしまいました。その他ガasketの話がショートに書かれており薄いガasketが有効というあたりはプロの味を感じました。

T S様

外国人の人気観光地ランキング：第2位のアキバフクロウには驚きました。SNSの凄さにビックリですね。なにが当たるか予想できません。ピカデリー加藤さんの映画：『ゆりかごを揺らす手』見ましたよ。復讐として、ベビーカーを転がり落とす…。

A S様



ピカデリー加藤 今月のAKTシネマ

『デストラップ 死の罟』
1982年 アメリカ 116分
監督 シドニー・ルメット
出演 マイケル・ケイン
クリストファー・リール
ダイアン・キヤノン

ミステリー専門の劇作家シドニーは、最近はその才能が枯れてしまったのか駄作続きのスランプ状態。そんな時、教え子に脚本のチェックを依頼される。余りの出来の良さにシドニーは教え子を亡きものにして、脚本を横取りしようと思いが…

ブロードウェイの舞台でロングラン上映された舞台劇の映画化。軽妙なタッチながら、二転三転する意外な展開の連続に画面に釘付けです。どんでん返しに次ぐ、どんでん返しをお楽しみください。

ピカデリー加藤

